2011年度第2四半期 決算公表参考資料

2011年11月1日

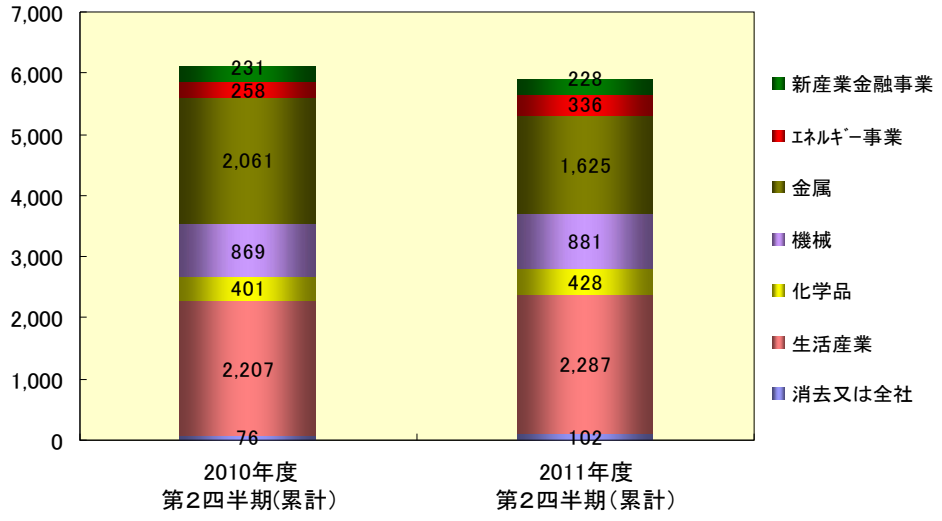
三菱商事株式会社

主要PL項目の前年同期比増減

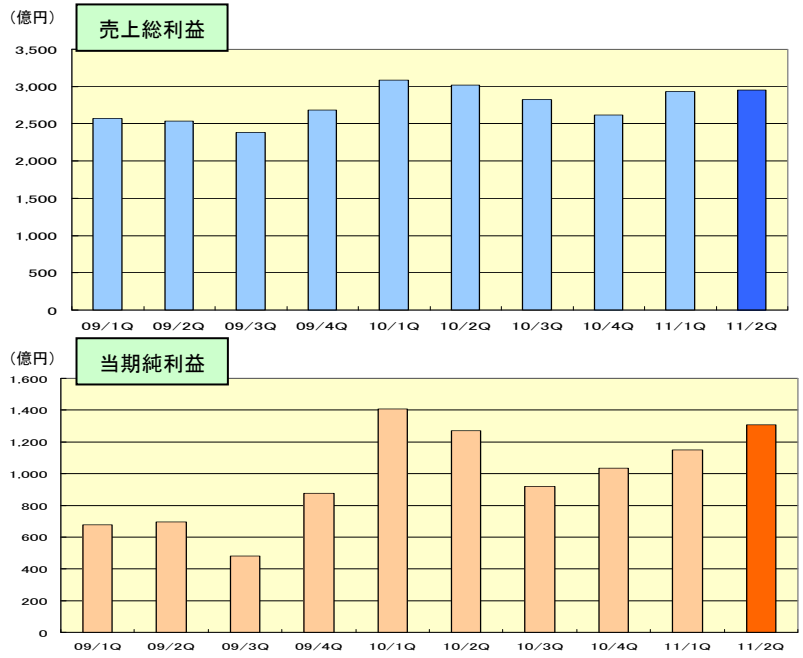
（億円）	2010年度 第2四半期（累計）	2011年度 第2四半期（累計）	増減	増減率	2011年度 通期業績見通し （期初公表）	達成率
売　上　高	95,811	100,091	4,280	4%	205,000	49%
売上総利益	6,103	5,887	▲ 216	−4%	12,800	46%
営業利益	1,993	1,686	▲ 307	−15%	3,900	43%
当期純利益	2,680	2,457	▲ 223	−8%	4,500	55%
基礎収益	3,391	3,274	▲ 117	−3%	6,450	51%

基礎収益＝営業利益(貸倒引当金繰入額控除前)＋利息収支＋受取配当金＋持分法による投資損益

セグメント別売上総利益推移



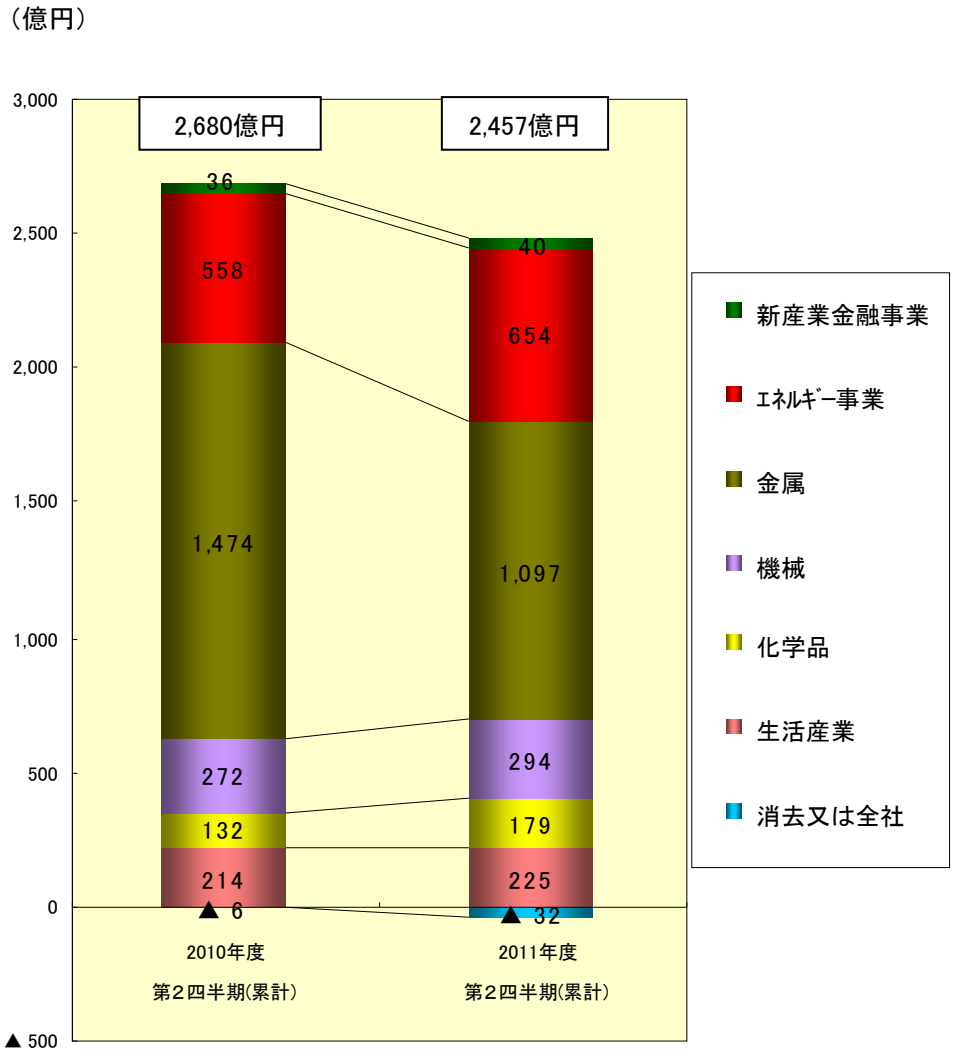
過去のトラックレコード（四半期ベース）



・本資料における「当期純利益」は、非支配持分を除く、当社株主に帰属する当期純利益の金額を表示しております。
また、「株主資本」も、非支配持分を除く、当社株主に帰属する資本の部の金額を表示しております。

・連結子会社における決算期の変更を反映させるため、過去の数値を遡及的に調整しておりますが、四半期毎の数値は、2010年度第1四半期、第2四半期のみに調整を反映させております。

セグメント別当期純利益の前年同期比増減



セグメント別増減理由

○**新産業金融事業（11%増益）**
物流関連事業での収益が減少したものの、不動産金融事業の収益の増加、及びリース関連事業での収益の改善により増益となったもの

○**エネルギー事業（17%増益）**
前年度の株式売却益計上の反動があったものの、海外資源関連投資先からの受取配当金の増加や、油価上昇に伴う海外資源関連会社の持分利益が増加したことにより増益となったもの

○**金属（26%減益）**
前年度のチリ鉄鉱石関連子会社における株式交換益計上の反動、及び豪州資源関連子会社（原料炭）における販売数量減などにより減益となったもの

○**機械（8%増益）**
前年度の株式売却益計上の反動や事業撤退に伴う損失などがあったものの、建設機械事業などでの取引増加、及び海外自動車事業における持分利益が増加したことなどにより増益となったもの

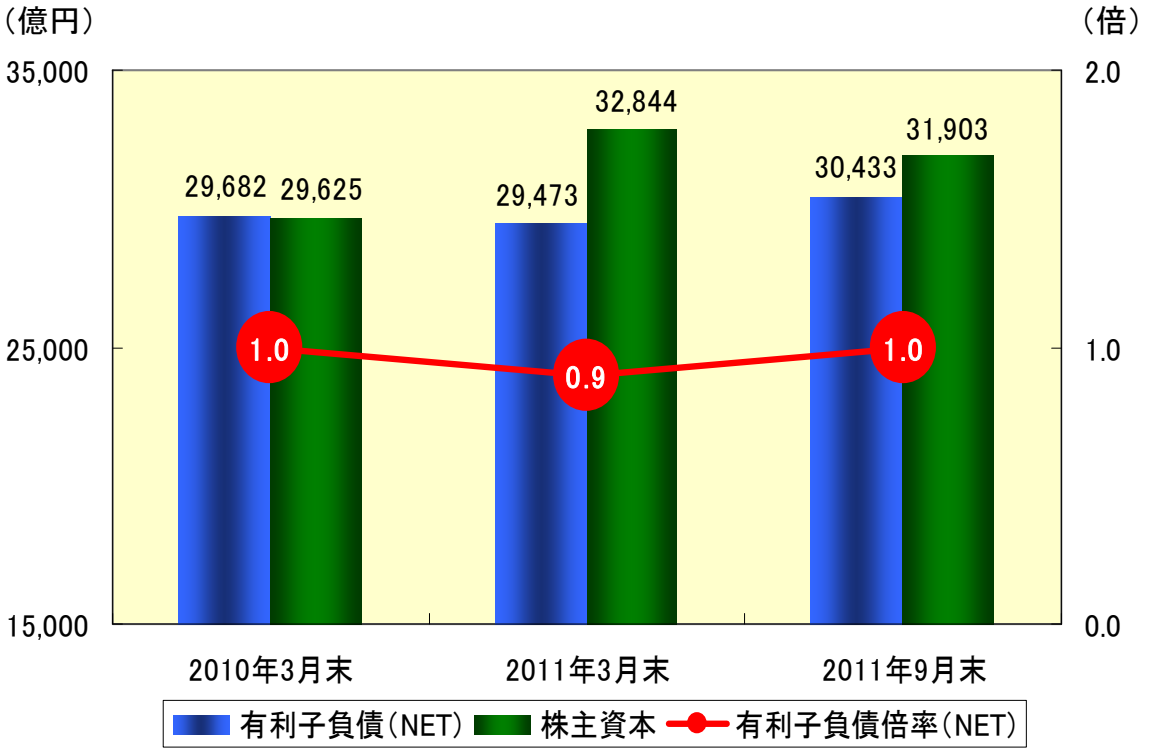
○**化学品（36%増益）**
親会社での取引好調による利益増加、及び石化事業関連会社などでの取引好調による持分利益増加などにより増益となったもの

○**生活産業（5%増益）**
国内の関連会社における震災関連損失の計上などによる持分法損益の減少や株式の減損（日清オイリオ）があったものの、食料関連子会社における取引利益の増加などにより増益となったもの

資源価格の推移

	2010年度 第2四半期（累計）	2011年度 第2四半期（累計）	増減
油価（ドバイ）($/BBL)	76.0	108.9	+32.9
銅価格（$/MT)	7,135	9,072	+1,937
アルミ価格（$/MT)	2,093	2,502	+409

株主資本と有利子負債の推移



主な株主資本増減要因
(2011年3月末比▲941億円)

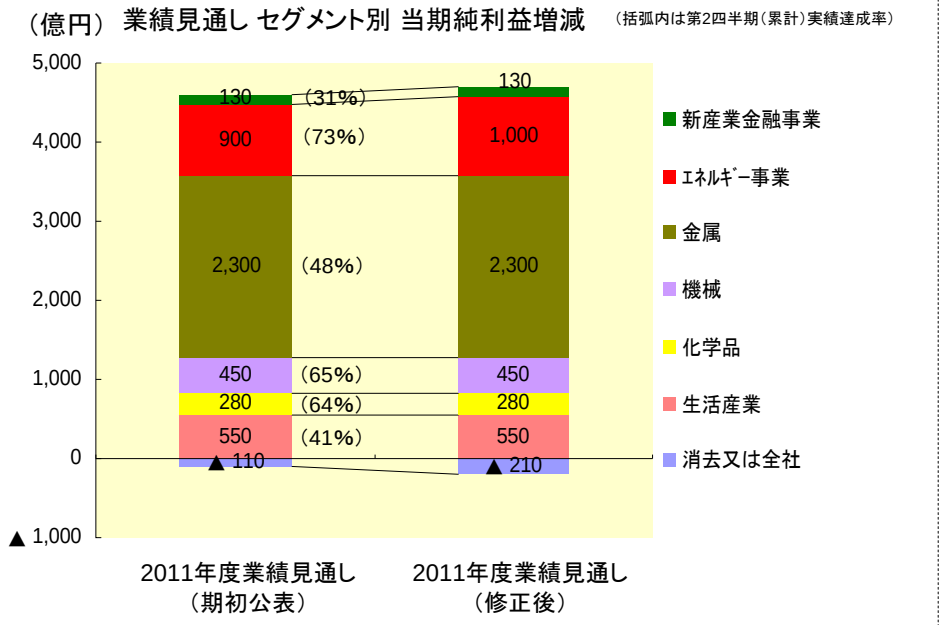
①当期純利益の積み上がり
（ 2,457億円 ）
②配当金の支払
（ ▲641億円 ）
③未実現有価証券評価益の減少
（ ▲883億円 ）
・・・主に海外銘柄の株価下落による
保有上場株式の含み益の減少
④為替換算調整勘定の悪化
（▲1,547億円）
・・・対豪ドルなどでの円高の影響

為替換算調整勘定への通貨種類別影響額

通貨種類	為替換算調整勘定への影響額（概算：億円）	2011年9月末レート	2011年3月末レート	（参考）2010年12月末レート
米ドル	▲ 250	76.65	83.15	81.49
豪ドル	▲ 900	75.17	86.08	83.13
ユーロ	▲ 150	104.11	117.57	107.90
ポンド	▲ 100	119.77	133.89	126.48
バーツ	▲ 150	2.46	2.75	2.70

通期業績見通し①

（億円）	2011年度 業績見通し （期初公表） （a）	2011年度 業績見通し （修正後） （b）	対期初公表 見通し増減 （b － a）
売　上　高	205,000	213,000	8,000
売上総利益	12,800	12,500	▲ 300
営業利益	3,900	3,600	▲ 300
当期純利益	4,500	4,500	0
基礎収益	6,450	6,250	▲ 200



セグメント別業績見通し増減理由

○エネルギー事業（100億円の増益）
油価上昇の影響によるもの。

○全社（▲100億円の減益）
為替前提の見直しによる影響等を全社一括で織り込んだもの。

（注意事項）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

通期業績見通し②

商品市況・為替・金利の状況

	第1・2四半期実績	第3・4四半期見通し	通年平均	業績見通しの前提（※）	増減	当期純利益に対する損益インパクト
為替（YEN/＄）	79.7	75.0	77.4	80.0	▲ 2.6	1円円高（安）につき年間25億円の減益（増益）インパクト
円金利（%）TIBOR	0.34	0.40	0.37	0.40	▲ 0.03	取引利益や投資利益により金利上昇の影響は相殺される部分が相当あるが、金利上昇が急である場合には一時的に影響を受ける。
US$金利（%）LIBOR	0.28	0.50	0.39	0.50	▲ 0.11	
油価（＄/BBL）（ドバイ）	108.9	95.0	102.0	92.0	10.0	$1上昇（下落）につき年間10億円の増益（減益）インパクト
銅地金（＄/MT）	9,072	8,708	8,890	8,378	512	$100上昇（下落）につき年間5億円の増益（減益）インパクト。 但し、銅の価格変動以外にも、粗鉱品位、生産・操業状況、再投資計画（設備投資）等の要素からの影響も受けるため、銅の価格のみで単純に決定されるものではない。
アルミ地金（＄/MT）	2,502	2,400	2,451	2,400	51	$100上昇（下落）につき年間10億円の増益（減益）インパクト 但し、アルミの価格変動以外にも、生産・操業状況、電力コスト、為替変動等の要素からの影響を受けるため、アルミ価格のみで単純に決定されるものではない。

（※） 2011年5月10日に公表した通期業績見通しの前提

株価の影響（上場有価証券減損の状況）

	減損額（税引後）	期末日経平均株価
第2四半期（累計）計上	▲59億円	8,700 円（2011年９月末）
通期業績見通し（修正後）織込み額	▲100億円（期初 ： ▲100億円）	株価が8,700円の水準で推移した場合に発生する減損額を試算の上、織込み

（注意事項）本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。